

東洋史概説Ⅰ（教職）

科目ナンバリング ESS-103
選択 2単位

澁谷 由里

1. 授業の概要（ねらい）

「中国史のスタンダードを学ぶ」（前近代史）

世界史のなかでも大きな比重を占める中国史を、高校世界史教科書に沿って学びなおします。入試対策の暗記から脱し、各時代の特徴や中国社会の本質が理解できるように、また日本とのかかわりや、世界に占める中国の重要性が理解できるように教えたいと思っています。中国史が苦手な人、入試で世界史を受験しなかった人も安心して受講してください。また中国史の基本がわかっている人でも、通史の学びなおしには得られるものがあるでしょう。

2. 授業の到達目標

1. 中国の通史に対して、基礎的な理解が持てるようになる。
2. 中国史の各時代の特徴、社会の本質が理解できるようにになる。
3. 日本とのかかわり、世界における中国のステイタスについて理解できるようにになる。

3. 成績評価の方法および基準

- ・複数回の課題への解答（90%）
- ・課題提出期限厳守の度合い、および出席受講態度（含出席状況）（10%）

4. 教科書・参考文献

教科書

木村靖二・岸本美緒・小松久男 『詳説 世界史 世界史B』

（以下、シラバス内では『詳』と略）

山川出版社

「世界の歴史」編集委員会 ※上記を所持していない履修者は、

『新もういちど読む山川世界史』

（以下、シラバス内では『新』と略） 山川出版社

参考文献

澁谷由里 『＜軍＞の中国史』 講談社現代新書

全国歴史教育研究協議会 『世界史用語集』 山川出版社

5. 準備学修の内容

「各回の授業内容」に示された、テキストの該当部分をあらかじめ読んでおくこと。

ノートを取り終えたら放置せず、次回までに内容を整理しておくこと。

書写が間に合わなかった漢字は、自分で調べてノートしておくこと。

6. その他履修上の注意事項

対面授業の場合は遅刻厳禁。また体調不良や重要な所用以外での途中退室はしないこと（抜けている間の内容が重要であることが多い）。LMS配信時のログイン忘れ、配信課題解答の提出忘れに注意。なおコロナ蔓延の状況によっては対面授業の中止や授業回数の削減などがあるので、帝京大学八王子キャンパスホームページやポータルサイトで最新情報をチェックすること。

7. 授業内容

【第1回】 ガイダンスー教員の自己紹介、授業概要説明、東洋史の基礎知識ー

【第2回】 中国文明の誕生から春秋戦国時代まで

『詳』pp.65-69、『新』pp.43-44

【第3回】 諸子百家と秦による中国統一

『詳』pp.69-71、『新』pp.45-47

【第4回】 漢代

『詳』pp.71-74、『新』pp.48-50

【第5回】 南北分裂の時代（魏晉南北朝時代）

『詳』pp.81-85、『新』pp.61-63

【第6回】 隋と唐

『詳』pp.87-90、『新』p.63-64

【第7回】 唐の全盛と衰退

『詳』pp.92-93、『新』pp.64-66

【第8回】 唐の滅亡と遼の台頭、五代十国時代

『詳』p.93, pp.158-159、『新』p.68, pp.73-74

【第9回】 宋代の政治

『詳』pp.160-162、『新』pp.69-70

【第10回】 宋代の社会・経済・文化

『詳』pp.162-165、『新』pp.70-73

【第11回】 モンゴル時代

『詳』pp.165-169、『新』pp.74-77

【第12回】 元朝の全盛と衰退

『詳』pp.165-169、『新』pp.74-77

【第13回】 明朝の勃興

『詳』pp.178-180、『新』pp.78-79

【第14回】 明代の経済・社会・文化

『詳』pp.181-184、『新』pp.84-86

【第15回】 明朝の衰退、清朝の勃興

『詳』pp.185-188、『新』pp.79-81